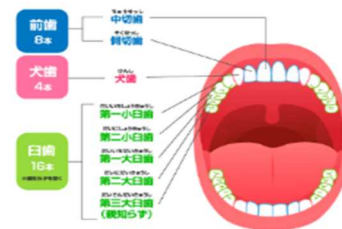


学校名 富士見小学校	1 学年
授業者氏名 山科 美里	
題材名 「たくさん噛むと〇〇にいい！」 「真っ黒な歯を白くしよう(児童会企画)」	
主 眼 毎日の給食で、あまり噛まずに飲み込んだり、お茶で流し込み食べをしたりしている子ども達が、一口に噛む回数を数えたたくさん噛む方が唾液が出て食べ物が細くなり甘さが増す体験したり、噛むことの良さが分かる動画を視聴したりすることを通して、よく噛むことは体や歯、脳に良い影響を与えることを知り、家でも噛む回数 30 回チャレンジを行おうとすることができる。 給食後、歯みがき CD 1 曲分丁寧に磨けたら白いシールを貼り、真っ黒い歯を全員で協力して白くする活動を行うことで、歯みがきをより習慣化することができる。また、歯をよくする豆知識やひと工夫を昼の放送で発表している。1 年生からの発信も願っている。	
学習材 動画 よくかんで食べよう - YouTube 真っ黒い歯のイラスト・白いシール	
成果 ① ご飯一口分を飲み込むまでに何回噛んだ？→◎10 回以下(2 人)◎10～20 回(12 人) ◎21 回～30 回(4 人)◎30 回以上(3 人) ② 「10 回噛む」と「30 回噛む」を試して、違いを実験しよう。 10 回噛む ・食べ物が小さくなる ・まだ、飲み込めない 30 回噛む ・めっちゃ細くなった。 ・飲み込みやすい ・こなごな ・あまい ・なんか、おいしくなる ・しるがでてきた ・なくなったみたい ② 赤と青はどんな仲間？ どちらが好き？   ・赤色は、体に良さそう。青は砂糖がたくさん入っていて体に悪そう。・赤は堅い。青は柔らかい。・青が好き ③ 「赤色はたくさん噛むメニュー」です。たくさん噛むと良いことがあるようです。どんなことでしょう。 子ども達と予想を立て、動画視聴。たくさん噛むと余計に歯がボロボロになるのでは？という予想も出た。唾液が出て、むし歯予防になるということを知っている児童もいた。 ④ 「たくさん噛むと〇〇にいい！」〇〇の中に、自分で言葉を入れて学習のまとめとした。 ・「たくさん噛むと、歯にいい！」 ・「たくさん噛むと、おなかにいい！」 ・「たくさん噛むと、勉強にいい！」 ・「たくさん噛むと、味がよく分かっていい！」 ⑤ 動画での提案の通り、一口 30 回をおうちでもやってみよう、と宿題にした。	
課 題 ・動画では、集中力が高まるや、消化にいい、太り過ぎの予防など、歯以外の良さについて 5 つの視点から説明していた。少し、混乱するかと思ったが、唾液をたくさん出すことが歯に良いことを知れただけでも良かった。	

【授業実践振り返りカード】 9月

学校名 富士見小学校	学年 2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 「パタカラ体操をしている自分の歯や口や舌は？ ～粘土を使って～」	
主 眼 パタカラ体操に取り組み、自分の口の動かし方を学んでいる子どもたちが、自分の口の形や歯並びや舌の動きに着目し、粘土を使って工夫して模型で表現することを通して、自分の口や歯や舌についての気づきや観察力を高め、口腔の健康への関心を深める力を培うことができる。	
学習材 ・ 歯の分類のイラスト（8020 推進財団） ・ 粘土で作った歯の模型	
成 果 ・ 「パタカラ体操」への取り組みが真剣になった。特に、舌の使い方（動かし方）が正確になった。動きが大きくなった。 ・ 手鏡を使いながら自分の口や歯や舌をよく観察し、自分の歯に関心をもつことができた。 ・ 油粘土を使ったことにより形が変形しやすく、観察して気づいた細かな点を、へらなどを使ってきめ細かに表現することができていた。 ・ 歯の分類イラストにより、大人の歯と自分たちの子どもの歯の色や形の違いや、前歯奥歯の役割を考えながら歯の特徴を観察することができていた。 ・ 歯の模型を用意したことで、鏡に映りにくい奥まで、どうなっているか、イメージしやすくなった。	
課 題 ・	



【授業実践振り返りカード】 9月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 野田 直美	
題材名 「 ひまわりの種を食べると、どんないいことがあるのだろう? 」 主 眼 食用ひまわりの種を試食し、「栄養は豊富だけれど最後に苦さが残ってあまり美味しくない」と感じた子どもたちが、ひまわりの種には歯の再石灰化を助けるはたらきがあることを知ること、ひまわりの種と歯や口の健康の関係に着目し、ひまわりの種を食べることによる効果について調べ、クラス全体で共有することを通して、ひまわりの種は歯や口の健康に良い効果をもたらすことを理解し、食べやすくするにはどうしたらいいか、考えようとするすることができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ・「ひまわりの種は再石灰化を助けるはたらきがある」という事実 (歯にいい食べ物 HP より)	
成 果 ①ひまわりの種には、歯と口の健康を保持するために以下のような効果があることをクラス全体で共有することができた。 ・ 歯の再石灰化を助ける。 ・ 歯を丈夫にしてくれる。 ・ 食物性タンパク質（体を作るために必須な栄養）が豊富。 ・ ひまわりには、歯に役立つ5つの栄養がある。 (リン・カルシウム・マグネシウム・ビタミンE・葉酸) ・ ひまわりの種からできた天然の健康的な油が歯をコーティングし、歯を守る。 ・ 抗酸化作用で老化を防止する効果がある。 ・ 歯茎の腫れを防ぐ。 ②一方で、油が多く含まれているため、カロリーが高く、食べ過ぎには気をつけること（1日20～30粒）や、歯に種の食べカスが残しやすいことなど、ひまわりの種を食べる際の注意点についても確認することができた。 ③今のままでは「あまり美味しくない」と感じている子どもたちが多いが、歯と口の健康にとって良い食べ物であることが分かり、どうすればみんなが食べやすくなるのかについて、目を向け始めた子どもたちのつぶやきがあった。	
課 題 ・ 生のままで食べると、ピーナッツのような甘みの後に、草のような味が残り、苦みを感じた。歯と口の健康にとって良い効果があることが分かったため、簡単に美味しく食べられる方法を探して試していきたい。また、良い方法が見つかったら、学校や地域へ発信して広めていけるようにしたい。	

【授業実践振り返りカード】 9月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯と口の健康」(総合的な学習の時間)	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。	
主 眼 「歯と口の健康」に対する課題の解決策に取り組んでいる子どもたちが、むし歯・歯周病」の危険性や防止法に着目し、学校歯科医から専門的な知識を教わることを通して、自分に取り組んでいる解決策に必要な知識を培うことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 専門家(学校歯科医)による直接指導	
	
成 果 講義形式だったが、集中を切らさずに必要に応じてメモをとる姿があった。また、自分たちが取り組んでいる解決策に関する質問をしている姿もあった。次時の総合の授業では、早速メモをしたことを見返して、解決策の準備を進める姿があった。	
課 題 専門家と直接対話できる機会を活かすために、質疑応答の時間をもっと確保しておけばよかった。挙手したが、時間が足りずに質問できない姿があった。	

【授業実践振り返りカード】 9月

学校名	富士見小学校	学年	5年
授業者氏名 桃澤 啓			
題材名 「 歯について調べよう 」 (理科)			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 生命のたん生 (人) について、受精後どのように母親の胎内で成長し、誕生するかを学んだ子どもたちが、その後人の歯はどのように生えてくるのかなどの疑問を持ち、ICT 機器を使ってそれぞれの疑問を調べることを通して、自分で調べたことに納得し友だちに伝える力を培うことができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 歯について疑問に思った子どもたちの意見を板書し、それを見た子どもたちが、こんなことが調べられそうだとそれぞれ自分なりの題材を選択する。			
成 果 多くの子どもが、自分なりの疑問をもって意欲的に調べる姿が見られた。友だちにわかり易くするために、写真やイラストを載せる子がほとんどだった。			
課 題 調べたことの文言を、そのまま掲載する子どもが見られた。友だちにわかりやすく、自分の言葉に置き換えて文章を書いていくことを、調べ学習をする際には繰り返し指導していきたい。			

【授業実践振り返りカード】 9月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 山崎 健太郎			
題材名 「これから先、歯と口の健康を保つために」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 今年度の学校生活で、歯と口の健康を保つためにどんな取り組みが重要か学習した子どもたちが、パタカラ体操やデンタルフロス、夕食後の歯みがきや手鏡磨きなどの必要性に改めて着目し、それぞれの効果や意義をクラス全体で再確認することを通して、自分なりの目標をもって継続していこうとする力を培うことができる。			
学習材 ・パタカラ体操の動画 ・自分が過去に書いた歯みがき宣言			
成 果 ・子どもたちにパタカラ体操の効果について問いかけると、多くの児童がその効果を理解していた。また、どの取り組みも継続性が重要であることを再確認することができた。 ・以前一人一人が立てた、歯と口の健康を保つための目標（はみがき宣言）をもとに、自分の目標を川柳にして再確認することができた。			
課 題 ・1 週間に一度、自分の目標や学習したことに立ち返って、自分の取り組みをふり返る時間をとる必要がある。			